

環境影響評価書案に係る住民説明会（第1回～第7回）の代表的な質問・意見（概要）

【大気汚染】

Q：新可燃ごみ処理施設の稼働後の大気汚染物質濃度の予測結果を算出する際の予測条件、予測の過程を教えてください。

A：新可燃ごみ処理施設の自主規制値の濃度、排ガスの温度、排ガスの排出速度を予測するため、建設予定地における1年間のうち4季×1週間で1時間ごとの値を測定しています。その結果を用いて、地上付近に大気汚染物質が降下した際の濃度を算出し、その結果と現地調査において測定された大気汚染物質の濃度を足し合わせ最終的な予測結果としています。

Q：自主規制値の設定根拠を教えてください。

A：周辺地域への配慮として全国でもトップレベルの自主規制値を目指しました。なお、他の施設や最新の事例を参考とし、どの項目も全国的に見て、厳しい自主規制値にしています。国の基準等を遵守するのはもちろんのこと、それよりも厳しい基準値を設定しています。

Q：予測に用いた車両台数の設定にいたる過程や設定条件を教えてください。

A：事業計画を基に車両台数及び予測地点を設定しています。この各予測地点を走行する一般車両、工事車両、ごみ収集車両等の台数から、大気汚染物質の濃度を算出し、その結果と現地調査において測定された一般環境大気汚染物質の濃度を足し合わせて最終的な予測結果としています。

Q：排ガスが人体に影響を及ぼさないのかどうかを医学的根拠があれば教えてください。

A：現在の焼却処理施設において健康被害があったという報告がないことに加え、環境基準等を下回る厳しい自主規制値や高度な排ガス処理設備を設けることから新しい施設においても健康に対する被害はないと考えます。

【騒音・振動】

Q：20号バイパスの観測地点では現状で環境基準を上回っているが、どのようにして良好な環境を守っていかうとしているのか。

A：この地点では従来から走行している車両等の影響により騒音レベルが環境基準値を上回っています。新施設への搬入車両による影響はほとんどなく、「現況とほぼ同程度」という評価となりました。しかし、組合としては低公害車の導入を日野市、国分寺市、小金井市に要請し、運転者へのマナーアップ（アクセルをゆっくり踏み込むことを推奨するなど）の徹底をしていくことで、影響をゼロに近づけるようにしていきます。

【悪臭】

Q：臭気指数に関して、詳しい説明をしていただきたい。

A：臭気指数は、人の嗅覚を用いて、においの程度を数値化したものです。採取した空気を、においが感じられなくなるまで希釈した場合の希釈倍率を常用対数で表示したものが臭気指数です。本計画敷地境界では臭気指数 10 未満となります。臭気指数 10 の目安は梅の花の香り程度とされております。

【温室効果ガス】

Q：温室効果ガスの予測値はいつの時点の予測値なのか、30 年間維持されるものなのか。

A：温室効果ガスの予測対象時点は、新施設の完成後のごみ量が最大となる平成 32 年度の一年間です。ごみ量は平成 32 年度以降減少することが予想されるため、それとともに温室効果ガスの排出量も減少すると考えています。

【その他】

Q：施設周辺の植栽に桜を植えて欲しい。

A：意見として承ります。施設のイメージアップを図り、地元と共存できる施設としたいと考えます。

Q：国分寺市と小金井市は、それぞれの市民に対して、日野市にごみを持っていくことに関する情報発信や啓発が足りないと思うのだが、意見を聞きたい。

A：組合ニュースの全戸配布や組合のホームページの作成等で国分寺市民・小金井市民に PR しています。このような方法で両市民に対して引き続き情報発信をしてまいります。また、両市に対しても積極的に PR するよう申し入れます。